

教育の方法・技術

第5講 研修の分析と設計

齋藤 陽子(岐阜女子大学)

第5講 研修の分析と設計

【目的】

受講生に効果のある研修にするために、研修の目標分析やそれに基づいた設計が必要になることを理解し、その分析・設計方法について考える。

【学修到達目標】

- 何を学ぶのか、そのための研修のあり方について説明できる。
- システム的な研修設計・開発の手順を5つに分けて説明できる。

【研修の目標分析】

「目標分析をする」とは、
目標の構造を捉えること

- 目標の構造がわかるというのは、評価規準のなかで、重要度を決定すること
- 単元・活動で、「何をしたいか」「何を教えたいか」「何を指導したいか」、そのために「何が必要か」「どのような方法をとるか」これらを分類
= 目標の構造化

【教育目標の分類学】

日本における目標分析は、
ブルームの「教育目標の分類学」

- 教育目標を構造化し、2次元のマトリックス上に表現するもの
- 学習行動(能力)については3つの領域に区分け
= 認知的領域, 情意的領域, 精神運動的領域

【教材の構造】

教育工学における授業の設計
= システムズ・アプローチ

- 教授学習のプロセスをプログラム化し、より効率的に学習（学習目標への到達）させることを意図
-

【研修の設計・開発の手順】

教育に対する期待

= 教育した結果どのように成長

(または変化) するかという目標

- IDプロセスモデルとは、目標を達成するために必要な学習活動を分析・設計・開発・実施・評価の5つのフェーズとして定義

第5講 研修の分析と設計



課題

1. ご自身が園の中で研修を行うとするならば、何を学ぶ研修とするのかを具体的に述べなさい。学ぶことを実現するために、どのような研修とするのか、その方針を述べなさい。
2. 1. で述べた研修を基に、体系的な研修設計について、①何をしたいのか②何学びたいか③何を指導したいか④どのような順序で学ぶのか⑤それを指導するために、何がいるのか、の5つに分けて、具体例を示しなさい。

第5講 研修の分析と設計

【目的】

受講生に効果のある研修にするために、研修の目標分析やそれに基づいた設計が必要になることを理解し、その分析・設計方法について考える。

【学修到達目標】

- 何を学ぶのか、そのための研修のあり方について説明できる。
- システム的な研修設計・開発の手順を5つに分けて説明できる。

教育の方法・技術

第5講 研修の分析と設計

齋藤 陽子(岐阜女子大学)